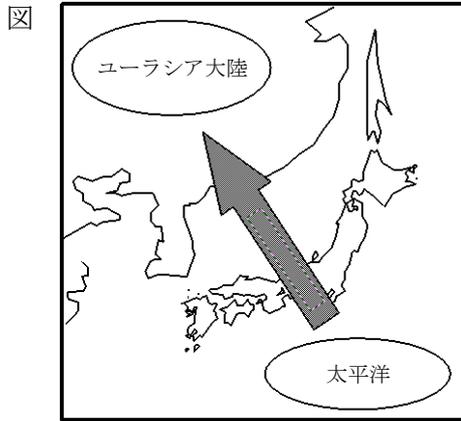


中学2年生 *単元確認テスト* 2学期④		大気の動きと日本の天気	
組番	氏名		/10

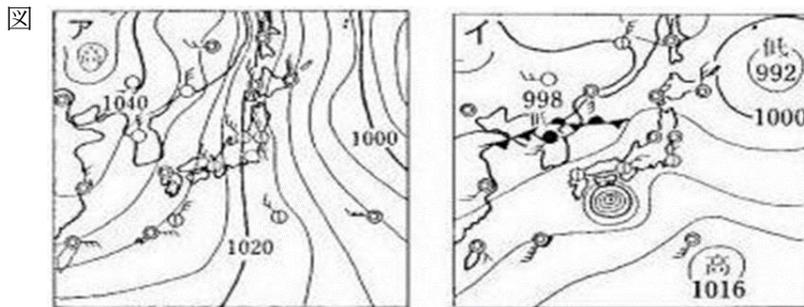
1 下の図は、日本付近の夏の季節によく見られる特徴的な風を矢印で模式的に示したものである。次の問いに答えなさい。



(1)	
(2)	①
	②
	③

- (1) 図の矢印のように、季節ごとに吹く特徴的な風を何というか。(1点)
- (2) 下の文は、夏に見られる(1)の風が吹く理由を説明したものである。①～③に当てはまる言葉を()から選び、記号で答えなさい。(全正1点)
- 夏になると、太平洋に比べてユーラシア大陸が ① (ア あたためられる イ 冷やされる)。
その結果、ユーラシア大陸上の気圧が ② (ア 高く イ 低く) なり、太平洋上の気圧が ③ (ア 高く イ 低く) なる。そのため、夏では南東の風が吹くことが多くなる。

2 下の図は、日本のある時期の天気図である。次の問いに答えなさい。(1点×3)



- (1) アの天気図は、ある時期の特徴的な気圧配置を示している。この時期は、夏、冬のどちらか答えなさい。
- (2) アの天気図の特徴的な気圧配置は、天気予報等でよく漢字4字で示される。その気圧配置の漢字4字を答えなさい

(1)	
(2)	
(3)	

- (3) イの天気図で、等圧線が同心円状になって表されている低気圧を特に何というか。

3 次の文の①～⑤の中に適当なことばを書きなさい。

(1) 夏の前には、日本列島付近では、南のあたたかくしめった気団と北の冷たくしめった気団の間に前線ができて、雨やくもりの日が多くなる。この時期に日本列島付近にできる前線を（ ① ）前線という。（1点）

(2) 日本では、冬にシベリアからの寒冷な北西の（ ② ）がふいて、日本海側の各地では豪雪になることがある。

また、夏には、太平洋上の高気圧の影響を受けて、高温で晴れの天気が続くことが多く、（ ③ ）不足になることがある。（全正1点）

(3) 夏の初めの（ ④ ）や秋の初めの雨の多い天気も、日本の特徴的な気候である。その時期には集中豪雨が起こったり、7月から10月にかけては（ ⑤ ）が日本付近を通過したりして、大きな災害をもたらすことがある。（全正1点）

4 毎年、大雨による洪水や土砂くずれで甚大な被害をもたらされている。次の問いに答えなさい。

(1) 地域によっては、少しでも被害を小さくするために洪水や土砂くずれの危険性の高い地区や範囲を表したものがある。このようなものを何というか。（1点）

(1)	
-----	--

(2) 上記のような気象災害に備えて事前に行っておけばよいことを2つ書きなさい。（全正1点）

(2)	
-----	--

(1)	①
(2)	②
	③
(3)	④
	⑤